

茅井地区 住民自治協議会だより

第57号

令和8年11月1日発行

発行者

茅井地区住民自治協議会

会長 西澤 一幸

TEL 026-262-1583

茅井総合市民センターが開所



萩原長野市長らがテープカット

【施設概要】

鉄骨造2階建て、延べ861.19㎡

敷地内駐車場：約40台

1階 茅井交流センター（事務室）、茅井支所、住民自治協議会（事務室）、*中会議室、小会議室、交流スペース

2階 *大会議室（ホール）、*調理教室、*学習室

（*の部屋が貸し室）

地域待望の茅井総合市民センターの開所式が10月3日に開催され、萩原健司長野市長、茅井地区住民自治協議会の西澤一幸会長、地元の大区長ら約70人が参加した。開会に先立ち、影山地区の神楽が披露されセレモニーを盛り上げた。

式典冒頭では、萩原健司長野市長が「交流センターになったことで、従来の公民館より、施設利用の自由度が増したので、積極的に活用してほしい」とあいさつ。

西澤会長は「来春運行するオンデマンド交通の活用を含め、より良い地域コミュニティをつくるための拠点として機能するように努めていきたい」と抱負を語った。

式典はこの後テープカットが行われた後、記念写真の撮影も行われた。

茅井総合市民センターは、交流センター（旧茅井公民館）、市役所の茅井支所、住民自治協議の3つの機能からなる複合施設。このうち、交流センターには、貸し室（大会議室、中会議室、調理教室、学習室）も含まれる。

貸し室は、長野市民であれば基本的に誰でも利用できる。

当面は、茅井交流センターに出向いての申請が必要となる。詳しくは、茅井交流センター（026-235-5778）にお問い合わせください。



9月24日に移転



西澤一幸会長があいさつ



影山地区の神楽も披露された

二十歳を祝う会が行われました

8月15日に「二十歳を祝う会」が旧芋井公民館で開催され、対象者12名中8名の新成人が参加しました。

久しぶりに会った友人とお互いに近況報告をしたり写真を撮ったりと、楽しい時間を過ごしていました。



新成人の皆さん

ふれあい祭り秋 2026

「ふれあい祭り秋 2026」が9月23日、約70人の地域住民らが参加して開催された。このお祭りは、芋井地区への移住者と地元住民の交流と、地元の子どもの健全育成の視点から、一昨年から開催しているもの。今回は、パン焼き体験、もちつき体験、ニジマスのつかみどりの後、夕暮れコンサートとキャンプファイヤーが行われ、盛り上がった。



オンデマンドバス説明会開催



芋井地区で令和9年春に運行を開始する、A I オンデマンドバスの利用者説明会が、10月8日と9日、芋井総合市民センターとハイランドホール飯綱で開催され、2会場延べ4回に約90人の住民が参加した。

デマンドバスを運営するのは長野市。芋井で運行するバスの台数は、浅川地区を含めて合計3台。予め利用者登録を市に申請してカードを取得し、インターネットか電話で予約して乗車する。乗車時間は朝7時から夜19時まで。ぽていお大門近くの「花の小路」や芋井と浅川内に設けられるバス停に乗降車できる。同種の説明会は、年明けにも開催される。専用のバス停マップは来年3月に全戸配布される予定。



祝！百歳 ～記念品を贈呈～

今年も、百歳を迎えられた方の似顔絵（作：YOMOYAARTSさん）と記念品をご家族の方にお贈りいたしました。とても喜んでいただき、こちらも嬉しくなりました。



小林 範子さん（影山）



ご家族へ

芋井 保育園・小学校とお1人暮らし高齢者の交流会開催



7月17日（金）に民生児童委員主催の元、芋井交流センター（旧芋井公民館）にて芋井保育園の園児、芋井小学校の児童、おひとり暮らしの高齢者の方との交流会が行われ、子どもたちの発表を観覧し、ゲームで交流を深めました。参加された方々の笑顔があふれる時間となりました。

お昼にはお弁当と、「芽吹きのかい」ボランティアの方が作った豚汁を、民生児童委員と一緒に楽しくおしゃべりを楽しみながら食べることができました。



ふくしフェア

9月5日（土）アソビーバナガノパークにて第2回「ふくしフェア」を開催しました。

昨年は福祉用具の展示がメインでしたが、今年は健康に関する相談や測定、そして365日大学小山 秀一校長の「高齢化社会における老々介護」の講演会がありました。奥様が突然脳出血で倒れ、ご自身も急性肺炎で入院され、現在の老々介護の日々を赤裸々に語ってくださり、スタッフも含め50人ほどが先生の言葉に聞き入りました。

骨密度測定や聴力測定も人気で、来場された方々にご好評をいただきましたので、次回はぜひご都合をつけてお越しください！たくさんの方のご来場をお待ちしております。



長野南高校の地域協働探究「長南ミラリンクプロジェクト」に参加

天空の里いもい農場と芋井地区住民自治協議会が連携し、長野市天然記念物「飯綱高原のシラタマノキ群生地」の保護活動をテーマに、「長南ミラリンクプロジェクト」に参加した。

シラタマノキは日陰を好まない植物なので、シラタマノキを覆っている草や小木を刈る保護活動に、10月9日、26名の生徒が参加して頂きました。

草刈り作業後は、今後継続して保護活動を行っていく為の、課題や解決策についてワークショップも行い、色々なアイデアを出して頂きました。

来年も宜しくお願い致します。

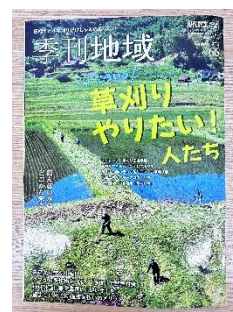


草刈りバスターズ ～ 草刈り問題対策の実践例として全国誌に掲載 ～

共助の草刈りの担い手不足解消を目指した草刈りバスターズの活動が、今年度も活発に行われました。令和8年度の活動内容は、担い手養成講座のイベント開催、大谷地湿原と一の鳥居苑地の草刈りと、集落の草刈りへの人材派遣。担い手養成講座は6月に開催され16人が参加。受講者の中には、その後の芋井地区の草刈りに協力いただける人たちも出て来ました。大谷地湿原の草刈りは、毎回10人前後が参加し合計4回開催、一の鳥居苑地の草刈りは10月下旬に2度実施しました。

草刈り支援隊である「草刈りバスターズ」を運営するのは、芋井住民自治協議会に位置づけられ、芋井内外の有志からなる「いもいりビングらぼ」です。地域の草刈り支援をはじめ、支障木を伐採して丸太を持ち帰ることができる「芋井YOSAKU隊」のほか、芋井のより良い未来に向けた話し合いや実験活動に取り組むプラットフォームです。

そんな芋井の草刈りバスターズ事業は、全国の農山村の共通課題となっている、地域の草刈り問題にチャレンジする一例として、地域活動の取り組みを紹介する、農文協が刊行する全国雑誌「季刊地域」にも取り上げられ、注目されることとなりました。



資源回収～ご協力ありがとうございました～

今年度第1回目の資源回収を、7月25日に実施しました。回収実績は、新聞・雑誌・段ボール・缶瓶類等 計4.627kg 業者引取額と、長野市からの奨励金合計39,495円でした。

ご協力ありがとうございました。

次回は11月7日（土）の予定です。ご協力をお願いいたします。



福祉自動車「芋井のぞみ号」年末年始運休のお知らせ

いつもご利用いただきありがとうございます。

12月26日（土）～1月3日（日）は年末年始のため「芋井のぞみ号」は運休します。

ご利用の皆様にはご不便をかけますが、何卒ご理解の程よろしくお願いします。

予約の受付もお休みしますので、予約のある方はお早目にお電話下さい。

コーディネーター 半田・徳武
住自協事務局 ☎262-1583

